

TPPチリ（ビニャ・デル・マル）閣僚会合 結果概要

平成29年3月15日

内閣官房TPP政府対策本部

3月15日、チリ（ビニャ・デル・マル）においてTPP閣僚会合が開催され、米国を除くTPP署名11カ国が出席し、日本からは越智内閣府副大臣が出席した。

出席した各国は、経済成長、競争、革新及び生産性の促進剤として、TPPの原則及び高い基準を強調し、TPPのバランスの取れた成果及び戦略的・経済的意義を再確認した。

出席した各国は、TPPに関するそれぞれの国内手続きについて意見交換し、アジア太平洋地域における経済統合を進める方法につき議論した。引き続き、5月にベトナムで開催されるAPEC貿易担当大臣会合の際に、閣僚が会合を行うこととなり、その準備を行うため、貿易分野の政府高官が会合を行ない協議することとなった。